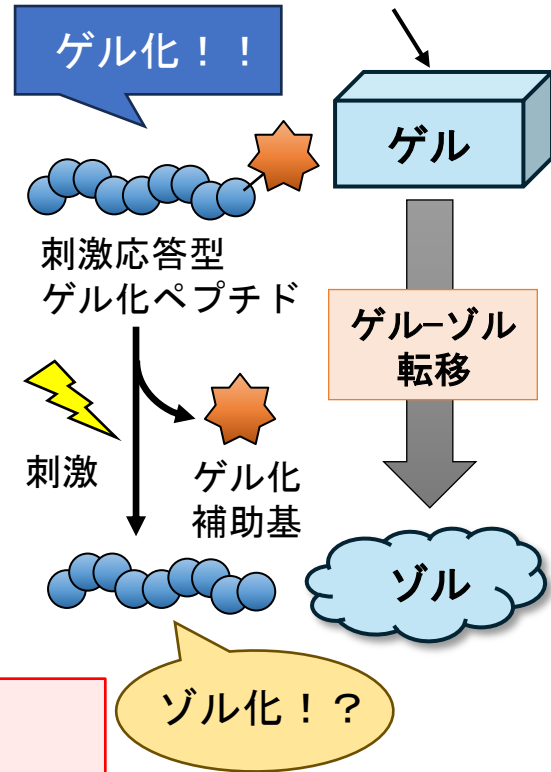


ひらめき☆ときめきサイエンス 徳島大学薬学部 2024 再生医療材料にも使われるペプチドハイドロゲルとは？ ゲル→ゾル転移を体験しよう！

ペプチドは、医薬品だけでなく医療材料としても非常に注目を集めており、特に自己集合型ペプチド(ゲル化剤分子)からなるペプチドナノファイバーを用いたハイドロゲルは細胞培養基剤または再生医療材料として開発が進められています。さらに近年、特定刺激によりゲル→ゾル転移する「刺激応答型ハイドロゲル」が、新たな薬剤放出基剤および疾患のバイオマーカー探索ツールとして非常に注目されています。刺激応答型ハイドロゲルで最も重要なのは、ゲル化剤分子のペプチドナノファイバー形成によるゲル化と特定刺激をトリガーとしたナノファイバー崩壊を介したゾル化が可能な点です。これを可能にする戦略として、ゲル化剤分子にゲル化補助基を導入し特定刺激により除去する戦略が挙げられ、これまでに多様な刺激応答型ハイドロゲルが開発されています。そこで本プログラムでは、ゲル化ペプチドを介して自身の手で「化学反応を基盤として“化合物を操る”」ことの魅力と面白さを体験してもらいます。

生体材料にも
使われる！！



ゾル化！？



日程: 令和6 (2024) 年8月22日(木), 23日(金)

会場: 徳島大学薬学部 (蔵本キャンパス)

時間: 10:00~16:00

定員: 高校生各日9名 (8月22日, 23日とも同じプログラムです)

申込締切: 令和6 (2024) 年7月5日 (金)

※6月14日 (金) より受付を開始します (予定)

問合せ・連絡先: 徳島大学薬学部 (担当: 傳田 (でんだ) 将也)

Tel: 088-633-9534

Mail: denda.masaya@tokushima-u.ac.jp

Web: https://www.tokushima-u.ac.jp/ph/admission/open_campus/phtaiken/ (近日公開予定)

集合場所: 薬学部1階インフォメーションプラザ

